

シリーズひと



**石月 祐作**さん（三条市出身・燕市在勤）  
 ●プロキックボクサー【KAGAYAKI(吉田法花堂)所属】  
ディビーユス DBS日本ムエタイ<sup>※1</sup>・スーパーフェザー<sup>※2</sup> 王者  
クロス × オーバー KROSS × OVER キックボクシング<sup>※1</sup>  
 スーパーフェザー<sup>※2</sup> 王者

▶試合中の様子（写真右が石月さん）。どんなに打たれても立ち向かっていく強靱なメンタルとボディブローの威力はまさに一級品。



※1 タイトル…現在石月さんが王者として保持する2つのタイトルの名称。ムエタイとキックボクシングの両タイトルを持つ選手は珍しい。  
 ※2 スーパーフェザー級…体重別に分けられた階級の1つ。団体によって多少の差があるものの、おおよそ60kg以下のこと。

## 感謝を胸に、狙うは世界タイトル。

昨年8月に行われた「DBS日本ムエタイ・スーパーフェザー級タイトルマッチ」にて、自身初となる王座を掴んだプロキックボクサーの石月さん。勢いそのままに、10月にも2冠目となるタイトルを獲得した強さの秘訣を伺いました。

「ゴングが鳴り、試合が始まった瞬間、スイッチが入ったというか、それまでの緊張が全て集中力に変わった感覚を覚えています」  
 初タイトル獲得の試合をこう振り返る石月さん。現在2冠を保持する王者の誕生は、とても意外なきっかけからでした。  
 「今から5年前、日ごろの不摂生から体重が増えてしまっ…運動をするなら元々好きだった格闘技を始めてみよう。アマチュアで少し試合ができればという程度だったんです」  
 25才と遅かったスタート。しかし、才能はすぐに開花し、1年後にはプロデビューを果たしました。

「最高のパフォーマンスを發揮して、お客さんに熱狂を届けること。これが『プロ』としての私の役割です。勘違いをしてほしくないのは、試合は『闘い』であって、『喧嘩』ではない。互いにリスペクトを持ち、健闘を称え合う。これがキックボクシングの魅力です」  
 プロとなった現在も、市内の企業で働きながら、ほぼ毎日ジムへと通う日々。多忙な中でも気の緩みはありません。  
 「職場の同僚やジムの仲間、本当にたくさんの人たちが声援を送ってくれます。試合があれば仕事を休んで、遠くまで応援に来てくれる人だっています。『感謝』の言葉しかありません。支えてくれるみんなのため、その想いが私を強くしてくれます」  
 何度も出てくる「感謝」という言葉。その想いを胸に、石月さんは次のステージを見据えています。  
 「数年以内に世界タイトルを獲得すること。そして、活躍を知ってもらおうことで、地域を盛り上げていきたいと思っています」

## 紙上ブログ

燕市長 鈴木力

明けましておめでとうございます。

去年は、新型コロナウイルスに明け暮れた年でした。一日も早い収束を願うばかりですが、こういう事態だからこそ、ピンチをチャンスに活かす発想が大切です。

今年の新春座談会はいかがでしたか？「燕市役所まちあそび部」の高校生たちは、コロナ禍にあっても疾風如く活動しています。また、大学生・社会人による「燕ジョイ活動部」も活発です。

こうした若者たちの力が、燕の明るい未来を切り拓いていくくれるはずですから、期待しましょう。令和3年が良い年でありますように。

◀こちらは有料広告です。

3つこの価格!!

6,000円月額

光おとく割キャンペーン

インターネット 300Mbps

ケーブルテレビ アンテナ不要

固定電話 基本料・通話料がおとく!

0120-080-009

長岡市干場1丁目7-9 www.nct9.co.jp

【電話受付】9:00~18:00 (ドコモ光タイプCに関しては10:00~19:00)

※この広報紙は、環境にやさしいベジタブル・オイル・インクを使用しています。